

摩周屈斜路トレイル (MKT)

摩周屈斜路トレイル (MKT) では、阿寒摩周国立公園北部のダイナミックな景観を堪能することができます。このルートは、火口湖、溶岩ドーム、そして天然の温泉へと通じています。また、アイヌの重要な集落である屈斜路コタンや、19 世紀末に天然の硫黄が採掘されていた硫黄山なども通ります。

MKT ルート

61 キロあるトレイルは、摩周カルデラから、屈斜路カルデラの西側周辺の山々にある美幌峠を目指します。途中では、屈斜路湖を見渡すことができます。屈斜路湖東端にある仁伏半島は、トレイルを約半分進んだところに位置します。トレイルはここから西へと屈斜路湖を周り、アイヌの人々にとって大切な遺跡を通ると、屈斜路カルデラの内側斜面をくねくねと進み、美幌峠の展望台を目指します。東へ進むと、トレイルはアトサヌプリ火山複合体を周り、川湯温泉を通過して、摩周カルデラへと続きます。

屈斜路湖周辺

屈斜路湖の面積は 79.3 km² で、日本最大のカルデラ湖です。30 万年以上前に始まった一連の大規模噴火により形成した巨大なくぼみ (20 x 26 km) である屈斜路カルデラの西側半分の大

半を占めています。アイヌの集落は、人々が狩猟採集をし、釣りをしていた屈斜路湖の湖岸で繁栄しました。MKT は、アイヌの人々の村の跡地、屈斜路コタンや、和琴半島などの旧アイヌ狩猟地を通過します。トレイル沿いの多くのスポットで、摩周湖の景色を一望することができます。

火山の麓

アトサヌプリ火山複合体は、屈斜路カルデラの中心部を覆うもので、10 個の溶岩ドームから成っています。硫黄山(512 m) には、蒸気や火山ガスを噴出する複数の噴気孔があり、この辺りの山の中でも標高が高く、特徴的な山です。MKT は硫黄山の麓に沿って続いていることから一部の噴火口を間近で見ることができます。山々の植物や環境を（英語で）紹介した標識が随所にある自然散策路へと続いています。